



感謝祭

実施期間：令和5年10月7日(土)～8日(日)

目的・趣旨

- 子供たちの健やかな成長にとって体験の大切さを伝え、自然体験、社会体験、生活体験の機会を提供する機会とする。
- 地域の方々や各種団体への感謝の気持ちを示す場として、国立妙高青少年自然の家の活動プログラム体験や地域の伝統文化等に触れる機会を提供する。
- 地域のボランティア及び各種青少年団体と連携し、各団体が主体的に活動や発表できる場を提供する。

事業概要

【参加者数】 7日(土) 前泊132名 8日(日) 日帰り329名

【実施内容】

前夜祭「アロマキャンドルづくり」

感謝祭「ドローン操作体験」「自然物クラフト」「遊びリンピック」「火起こし体験」

「源流探険」「森探険」「缶バッジづくり」「羊毛コースターづくり」

「クイックオリエンテーリング」「風船ヨーヨーづくり」「木のペンダントづくり」など

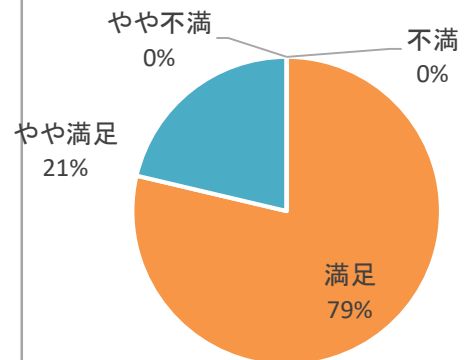
事業のポイント

- できるだけたくさんの家族に体験活動を提供するために、他団体と連携して多くのブース出展を企画した。
- 目玉企画としてドローンを活用した企画を実施した。ドローン操作体験は約100名が参加できるようにタイムスケジュールを工夫した。

成果

- 参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- 前泊者を含めて500名近くの方々から参加していただくことができた。
- 毎年同じ体験にならないように違った内容の体験を準備することで楽しんでもらうことができた。
- 昨年の反省を生かして、各ブースの体験時間が重なりすぎないように調整をして、たくさん体験できるように工夫した。
- 新たにドローンを活用した企画を実施し、自然とドローンの特性をお互いに生かした体験活動を考えるきっかけとなった。

参加者満足度



事業の様子



キャンドルづくりの様子



オープニングでドローン空撮



親子で缶バッジづくり



トイドローン操作体験



大変だった火起こし体験



バルーンアートでちゃんばらごっこ

参加者の声

- 毎年楽しみにしています。今年はドローンのショーがあり、すごかったです。
- コロナ禍で思うように活動できない期間が長かった中で、ご苦労も多くあったかと思いますが、これが自然体験活動だなと思うイベントやブースがたくさんあり、とても楽しいひと時を過ごすことができました。スタッフの皆さん、どの方にお会いしても明るく挨拶してくださり、親切丁寧に対応していただきました。ありがとうございました。
- まわりきれないので2日間連続してほしい。
- 来年も参加したい。

課題

- ドローンの企画は好評だったが、天候に左右される企画もあった。雨天時でも対応できるように工夫する必要がある。
- アンケートではもっとたくさんの体験ブースを期待する声もあった。ただし、ブースが多すぎるとまわりきれないという声もあるため、来年度はバランスを考えて計画を立てていく。